

ボランティアだより

編集・発行

大阪狭山市ボランティアセンター
大阪狭山市今熊1丁目85番地
TEL 072-367-6601
FAX 072-366-7407

ちょこっとボランティア ～ちょこボラのきっかけは“アレ”だった！！～

12月16日（土）ボランティア研修会「ちょこっとボランティア」を実施しました。

地域のサロン活動やボランティア活動を熱心にされている、ボランティアグループ連絡会の岡田義夫氏、吉田葉子氏、狭山地区福祉委員会狭山コーポ支部の山口政章氏、半田地区福祉委員会ライオンズマンション金剛支部の七里維久子氏、脳卒中の後遺症とつき合う当事者の会「ほっこり仲間の会」の岸上啓子氏、辻敦子氏、地域住民を支える公民館の小松茂美氏をお呼びし、ボランティア活動や地域の繋がりづくりのきっかけ、活動に対する想いをお話いただきました。



その後のグループワークでは、皆さんのボランティア活動に対する考え方や今後挑戦してみたいことを聞くことができました。

参加した方からは「何かしたいなという思いから始めたボランティア活動が、今では私の居場所になっています」「ちょっとした活動から色々な活動・人の縁に繋がるなんて素敵！」などの感想をいただき、充実した研修会になりました。



今回の研修では、できることをできる範囲でちょこっとだけ、無理なくすきま時間を活用したり、有償ボランティアの選択など、皆さんの生活に合ったスタイルでの活動について紹介しました。

あなたの趣味や特技、想いをボランティアに活かしてみませんか？皆さまのご相談をお待ちしています。

表彰受賞おめでとうございます！

これまでのご功績に敬意を表するとともに、今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。（順不同・敬称略）

令和5年度大阪府社会福祉ボランティア知事表彰

（令和5年11月29日）

ベル・バタフライ

（高齢者施設などでミュージックベルの演奏）

手話サークルさやま

（聴覚障がい者との交流会、手話・聴覚障がい問題の学習や指導、行政などの行事開催時の手話通訳等）

はばたき フェスタ



ボランティアグループ連絡会
「スーパーボールすくい」



つくしの会
「フライドポテト」



メンズボランティア狭山
「クラフト体験」



自助具の工房さやま
「作品展示・販売」



手話サークルさやま
要約筆記通訳グループどんぐり
「手話劇・十二支」

11月4日(土)・5日(日)4年ぶりにはばたきフェスタが開催されました!

ボランティアセンターに登録している6団体が発表・出店しました。2日間とも、とても天気良く、たくさんの来場者で大賑わいでした!

ボランティアグループ連絡会ではスーパーボールすくいを出店し、子どもから大人まで365名の方にお越しいただきました。

キラキラしたスーパーボールを一生懸命取ろうとする子どもの姿や、子どもたち以上に真剣に取り組もうと頑張る大人の姿などが見られ、とても楽しい時間でした!

※ボランティアグループ連絡会：様々なボランティア活動に取り組むグループが集まって、新たなボランティアの養成やスキルアップ研修、子どもたちへの福祉教育、ボランティア同士の交流会など、様々な事業に取り組んでいます。

災害ボランティア 登録者募集中

ご登録いただくと、発災時には災害支援ボランティアのご依頼、平時は災害ボランティアに関する講座や訓練のご案内をさせていただくことがあります。

【登録方法】いずれかの方法で登録をお願いします。

- ①社会福祉協議会の窓口で登録用紙を記入し提出する
 - ②ホームページの登録フォームから登録事項を入力する
- 大阪狭山市社会福祉協議会 <http://www.osaka-sayama.or.jp/>
(QRコードを読み取ると入力フォームのページへ移動します)



ボランティア養成講座「楽しい手作りクラフトボランティア」

【日 時】 令和 6 年 3 月 10 日 (日) 10:00~12:00

【場 所】 大阪狭山市老人福祉センター さやま荘 大広間

【対 象】 18 歳以上の大阪狭山市在住・在勤・在学の方

【参加費】 無料

【定 員】 15 名

【内 容】 身の周りの素材を使った手作りクラフトを教えるボランティア養成講座

【講 師】 メンズ・ボランティアさやま (通称 MVS) 会員

MVS は市内の各種イベントで子どもを対象にクラフト作りを教えているグループです。女性も大歓迎です。

【申 込】 大阪狭山市ボランティアセンター

【締 切】 3 月 1 日 (金) 必着

QR コードからも
申込可能! →



春のボランティアジュニアスクール参加者募集!!

今回は、災害が起きたとき、自分や家族・周りの人を助けられる知識をみんなで一緒に楽しく学びます。

【日 時】 令和 6 年 3 月 20 日 (祝・水) 10:00~16:00

【場 所】 大阪狭山市老人福祉センター さやま荘・さつき荘

【対 象】 市内の小学 3~6 年生

【定 員】 30 名 (申込多数の場合抽選)

【参加費】 500 円 (昼食・おやつ・資料代)

【申 込】 大阪狭山市ボランティアセンター

【締 切】 3 月 13 日 (水) 必着



お土産

(アルファ化米・防災グッズ等)
があるよ



← QR コードからも
申込可能!

「第2回わくフェス」開催!

ボランティアグループや市民活動団体による楽しいお祭りです!

【日 時】 令和 6 年 2 月 11 日 (日) 10:00~15:00

【会 場】 大阪狭山市立公民館

各団体によるステージ発表や楽しい体験ができるワークショップブース、様々な情報を発信している展示ブースや美味しい食べ物を販売している物販コーナーなど盛りだくさん!

みなさんのご来場をお待ちしています!

遊びにきてね



ほのぼのメモ

塩水に漬けるだけの超簡単なお漬け物

食品ロスも防ぎますよ～

材料 約2人前

- きゅうり 1本
- セロリ 1/4本
- 人参 1/3本
- 大根 3cm
- たかの爪 1本
- 昆布 3グラム
- ◎塩水(漬汁) 水350cc 塩10グラム

適当な大きさに切って、塩水につけ(ジップロックに)、2時間程で塩水を切り、器にもる。
※たかの爪は忘れずに！

塩で、もみ込む浅漬けは素材の味が楽しめますが、塩水漬けは、素材の食感を楽しめます。

大根・人参・かぶ等の根菜で歯ごたえを残した漬け物に向いています。

是非、試してみてください。

ゆずの皮を入れたり、大葉を加えても違った風味があります。

〈堀本〉



ボランティア知識

「白杖」

をご存じですか？

白杖とは、視覚障がい者が、歩行するときに使用する白い杖のことです。白杖を前に出しながら進むことで、周囲の情報を確認し、衝突や転倒などの事故を未然に防ぎ安全を確保する目的で用いられています。また、白杖を持って歩くことで周囲の人に視覚障がい者であることを知らせ、注意喚起を促す効果もあります。

昔から杖は視覚障がい者が歩くために欠かせない道具でしたが、現在のような白い杖になったのは1900年代初頭からといわれています。周囲への視認性を高めるために白色で塗られるようになったそうです。

視覚障がい者にとって、混雑した場所などは危険が伴います。白杖をもっている人がいたら勇気を出して「何か手伝いましょうか。」など声をかけてみましょう。その一声で危険から守ることができます。



編集後記

誰がこんなことを想ったことでしょうか。能登方面の震災。そして飛行機事故。驚きと悲しみでいっぱいです。

妻と子ども四人を一瞬にして失われた方が「なんで。どうして。」と声を詰まらせ、目には涙が・・・。

元旦に家族が集い「今年も良い年になりますように」と。悲しすぎます。「元氣を出してください」なんて、言えませんが。

ただもうこれ以上、苦しめないでと祈るばかりです。

〈鳥山〉